



No. 40

平成29年7月4日

発行 多治見市教育研究所

URL:

<http://school.city.tajimi.lg.jp/kyoiku/>

本誌は、多治見市教育研究所ホームページ上でもご覧いただけます。

巻頭言

子どもの育ちを支えるもの ～共感性～

多治見市教育委員会 教育次長 木股 一朗

これまで、子どもたちに付けたい力や願う姿について様々に考えてきました。最近改めて強く思うのは、生きていく中で出会うであろう、たくさんの困難や悲しみに負けず、へこたれず、なんとか自分の足で立ち上がり、もう一度がんばってみようと思える力こそ必要ではないかということです。そして、この力の根底には、自分自身を大切に思う心があります。いわゆる、「自尊感情」です。

「自尊感情」を育む根本は、少し大げさな言い方をすれば、無条件の愛情とでもいうのでしょうか。何かが出来たとかできないとか、勝ったとか負けたとか、よさとか弱さとか、自信があるとかないとかに関係なく、それ以前の、子どもの存在そのものを大切に思う周囲の大人の思いです。

子どもがよりよく育つために、よさを認め誉め価値付けることや、よくないことを毅然とした態度で叱ることを否定するものではありません。また、無条件の愛情は、家庭で保護者にこそ子どもに注いでほしいものです。

ただ、学校で子どもたちを指導するとき、自分の思い描く姿になかなか近づかない子どもたちを前にして、本当に子どものために指導しているのか、自己満足のために指導しているのかわからなくなってしまうことがあります。私自身、何度そんな指導を繰り返してきたことでしょう。授業でも行事でも部活動でも、よい成果や結果を出せばそれで子どもたちに力が付くと思っていました。それなりに一生懸命、情

熱をもってやってきたつもりなのですが、中でも、最も思い通りにならない子に対して、その子の存在そのものを大切に思うような気持ちももっていたかどうか……。

私たち教師も、最初からすべての子どもを理解できるわけではありません。そのよさや弱さの裏にあるものに思いを馳せ、理解しようと努めること、そのために、子どもの心に自分の心を近づける、いわば、共感することが、とても大切ではないかと思えます。

授業や行事などの様子を参観させていただく中で、先生方の豊かな共感性を感じる場面がたくさんあります。子どもたちと一緒に考え、一緒に悩み、一緒に笑い、一緒に泣く。同じものを共に見て共に味わい、同じ感情を共有する。片方では、冷静で客観的な心をもっていなくてはならないこともまた真実ですが、先生の共感性があると子どもたちは安定し、穏やかにのびのびとしているように思えます。この先生は、自分のこと、自分たちのことをわかってきているという安心感でしょうか。授業では、学習意欲も増し、力を伸ばしていくことでしょう。

そして、この共感性が、先生から子どもたちへというばかりでなく、子どもたち同士のものになっていったら、教室は本当に居心地のよい空間になっていきます。授業の中で、様々な活動の中で、本来のねらいと共に、子どもたちが思いや感情を共有できるということを大切にしながら指導をしていきたいと思っています。

土曜学習「わがまち 多治見 大好き講座」

5月 虎溪山 永保寺

土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」は、平成29年度も「多治見に愛着をもち、誇りに思う大人に育ってほしい」という願いのもと、9回を予定し、スタートしました。

5月20日に、虎溪山永保寺において開催した土曜学習には、64人の子どもたちが受講しました。

昨年度に引き続き、退職教員サポーターと中学生ボランティアを募集し、退職教員2名、中学生21名に助けられました。また、3名の多治見観光ボランティアガイドの方にも助けていただきました。

永保寺の国宝や名勝にふれる中で、700年にもおよぶ虎溪山永保寺の歴史や文化を体感し、児童・生徒の「ふるさと多治見」への愛着や誇りを深めることをねらいとして行いました。

普段は公開されていない国宝の開山堂や観音堂に入って見学したり、座禅堂で座禅を体験したりしました。また、雲水さんと呼ばれる修行僧の方に説明をしていただいたり、質問に答えていただいたりしました。

本物を見て、体験して学ぶことで、歴史の重みを感じてもらえたのではないかと思います。



6月 美濃 焼



6月は、多治見市美濃焼ミュージアムと多治見市陶磁器意匠研究所の2ヶ所で開催しました。38人の子どもたちが受講しました。

美濃焼ミュージアムでは、400年前の陶片に実際に触れ、「器革命」と言われる桃山陶の特徴や一度は消えてしまった桃山の陶工の技術がどのように復元されたかを学びました。茶室では、美濃焼の茶碗で抹茶をいただく体験もしました。

意匠研究所にはバスで移動し、ろくろを使った陶器づくりと施設見学をしました。難しい電動ろくろでの作陶でしたが、研究所の先生方にマンツーマンで教えていただき、全員が見事に完成させました。研究所内の見学もさせてもらい、普段は見られないめずらしい機械を見せていただいたり、釉薬の働きや色について興味深いお話を聞かせていただいたりしました。

この講座でも8人の中学生ボランティアに受付やグループリーダーの仕事を頼みました。意匠研究所では、ろくろや板についた粘土を一つ一つ雑巾で落とす仕事も手伝ってもらいました。

大変な仕事にもかかわらず、気持ちよく動く姿をありがたく思いました。

わたしの主張2017

6月24日、「わたしの主張2017多治見市大会」が、パロー文化ホールを会場として開催されました。今年も、小・中学校の代表26名が、多くの聴衆を前に、自信をもって堂々と発表をしました。

26人の児童・生徒が選んだテーマは様々であり、大変興味深いものでした。地域のこと、共に生きるということ、平和について、環境に関わること等、小・中学生ならではの新鮮な感覚で、広く、深く周囲を見つめ、気付き、考えたことを述べました。周りの人を思いやったり、将来を展望したりして、前向きに自分の生き方を切り拓いてこうとする強い姿勢や決意もありました。

児童・生徒の主張は、私たちによりよい社会にするために「自分ができること」を考える機会を与えてくれました。

《審査結果》＝小学生＝	
最優秀賞	根本小学校 福當 葉菜さん 「多くの人に支えられて」
優秀賞	南姫小学校 郷 美桜姫さん 「夢の実現のために、今出来る事」 市之倉小学校 奥村 菜々星さん 「お父さん長生きしてね」
社会を明るくする運動賞	小泉小学校 小竹 裕太さん 「言葉で伝える大切さ」
奨励賞	脇之島小学校 宇多村 麻斗さん 「お父さんから学んだこと」 笠原小学校 加藤 杏奈さん 「宝物と仲間」 北栄小学校 加藤 鈴乃さん 「大事な言葉」 池田小学校 伊藤 小羽さん 「記念植樹が教えてくれたこと」 滝呂小学校 成瀬 研さん 「ぼくを支えてくれているもの」 小泉小学校 小竹 裕太さん 「言葉で伝える大切さ」 精華小学校 鈴木 愛未さん 「大親友」 養正小学校 佐藤 茉実さん 「言葉の大切さ」 共栄小学校 久保田 晴渚さん 「便利になりすぎない社会に」 昭和小学校 宇佐見 和奏さん 「みんなが笑顔ですごせる未来へ」

《審査結果》＝中学生＝	
最優秀賞	南ヶ丘中学校 坂井 泰智さん 「信頼関係の先に見えるもの」
優秀賞	笠原中学校 柘植 優愛さん 「限りない可能性をもつ中学生」 小泉中学校 高橋 佑果さん 「幸せと感ぜない『幸せ』」
社会を明るくする運動賞	笠原中学校 柘植 優愛さん 「限りない可能性をもつ中学生」
奨励賞	北陵中学校 長谷川 寧音さん 「平和について考える」 小泉中学校 渡邊 望さん 「心で伝える心で届ける」 南ヶ丘中学校 寺島 和希さん 「世界は変えられる」 陶都中学校 目黒 泰地さん 「本当の幸せ」 北陵中学校 中山 香音さん 「ひいおばあちゃんが教えてくれたこと」 南ヶ丘中学校 武井 鈴さん 「前を向こう」 多治見中学校 吉村 萌百花さん 「生命の誕生に携わる」 陶都中学校 児玉 雛さん 「家族の大切さ」 南姫中学校 長谷川 来美さん 「心を開いて」 多治見中学校 伊東 花純さん 「私の夢」



多治見市 初任者研修

今年度、多治見市で教師生活をスタートさせ、初任者研修を受ける先生は、12名（中学校教諭8名、小学校教諭4名）です。

地域を知り、地域との連携についての知見を得るために、年間4回の多治見市初任者研修を行います。

第1回の様子について紹介します。

第1回【多治見市の方針と重点】4月25日 《ねらい》

多治見市の教育の方針と重点を理解する。

《内容》

- 1 市長講話
- 2 多治見市の教育施策について
- 3 特別支援教育研修
- 4 教育長講話
- 5 教師塾参考書「わたしなたこうする」の活用
- 6 講話「子どもの権利について」
- 7 接遇研修

色々な方面から話を聞き、多治見市の教育についての理解を深める研修となりました。

《初任者の感想より》一部抜粋

今回の研修で、多治見市のことについて少しだけ知ることができました。多治見市の良いところ、素敵などころをこれからもっともっとたくさん知り、子どもたちに伝えていきたいと思います。

市長さんと教育長さんから「カムバック・サーモン」のお話を伺いました。私が中学生の子どもたちに、私の知っている多治見の魅力を伝えたり、実物に触れさせたりして、多治見に愛着をもってもらいたいと思いました。

接遇研修では、応対や電話での注意点について学ぶことができましたが、「相手が何を聞きたいのかを想像しながら聞き出し、求めていることに答えること」の難しさも感じました。言葉遣いやマナーだけでなく、相手のことを考えた対応を心がけたいと思いました。

初任の先生の紹介

「子どもたちと共に」

明和幼稚園 丹羽 浩菜

多治見市の職員として働き始めて3ヶ月が経とうとしています。新しい環境で慣れない仕事に毎日周りの先生に助けていただいています。園内研修や資料作成などまだまだ分からないことが多いですが、先輩の先生から目で見たり聞いたりし、様々なことを学ばせていただいています。



「保育者」という職業は大変な事も多いですが、喜びもたくさんあります。私は、3歳児の担任をしていますが、子どもたちが自分で排泄できるようになったり、泣かずにお母さんから離れる事ができるようになったりと日々成長を感じられ、やりがいも感じています。「先生～！」と笑顔で私のところに来てくれる子どもたちがとても愛おしいです。これから子どもたちの良い姿をたくさん見つけて今後の成長につなげていくとともに、私も子どもたちと一緒に成長し、保護者の方からも信頼されるような保育者になりたいと考えています。

「大切にしていきたいこと～日進月歩～」

精華愛児幼稚園 加藤 智帆

精華小学校附属愛児幼稚園の先生として働きはじめて、3ヶ月になりました。年少児の担任をさせていただき、元気溢れる子ども達と楽しい毎日過ごしています。私が幼稚園の先生として、大切にしていきたいことは3点あります。



1点目は、子ども達一人一人を的確に捉えることです。その子にとって必要なことや大切にしたいことを見極め、日々の保育に活かしていきたいと思っています。

2点目は、活動の予想や必要なものの準備を念入りに行うことです。それにより、次の展開や予想される困りポイントがわかり、子ども達に、端的にわかりやすく伝えることができるからです。

3点目は、園全体を見て出来ることを考え、行動することです。分からないことや初めての事に戸惑ってばかりですが、出来ることを探して自ら行動したいと思っています。

以上の3点を大切に、日々励んでいきます。

「オール精華」の一員として
精華小学校 安江 美沙子



教員として働き出して、学校はチームであるということを実感しています。精華小は規模の大きい学校ですが、学校内で様々なことが共有され、先生方が関わり合いながら日々を過ごされていることに驚いています。

私の学年では、子どもの学習のことや生活のことを事前に打ち合わせ、足並みをそろえて進めています。子どもの気になる姿等も共有し、複数の目で子どもを見ていく体制があります。何もかもが初めてで、どうしたらよいか分からない私にとって、学年の先生方がいつも支えて下さっている心強さがあります。また、学習の進め方や生活のきまりが学年で統一されていることは、不公平感をもたないなど子どもたちにとっても、大切なことだと思います。

子どもたちにとって学校は「集団生活」を学ぶ場であると考えています。学級・学年・学校の仲間と共に生活することの良さや大変さを感じながら成長できるよう、子どもと共によりよい集団づくりに取り組んでいきたいです。さらに「オール精華」の一員として自分自身も研修を積み重ね、自分を高めていきます。

「子ども達の成長の為に」
昭和小学校 若宮 寛文



講師を3年経験して、今年晴れて教員としての生活をスタートすることができました。学級経営や教材研究、校務分掌などまだまだ分からないことばかりです。しかし、たくさんの先生方から

アドバイスをいただいたり、子どもへの言葉かけや指導の方法を学んだりして、「子ども達の成長の為に、教師として出来る限りのことをする」ということを学びました。そんな素敵な先生方と共に仕事ができることに感謝する毎日です。

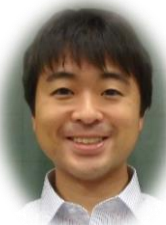
子ども達もこの3ヶ月間で、日々成長していることに喜びを感じています。4月当初は、授業に真摯に向かう姿勢が弱く感じていました。しかし、今では互いに意見を出し合って考えを深めたり、既習の考え方を活かして問題を解決できないだろうかと思案に考えたりするなどの姿が見られるようになってきました。そんな子ども達の姿に勇気とやりがいを感じています。

これからの生活でも「子ども達の成長の為に」頑張っていきたいと思っています。

「私の宝物」

滝呂小学校 加藤 永希

子どもたちと過ごしたこの3ヶ月は、あっという間に過ぎていきました。素晴らしい先生方に囲まれ、先生方の指導法を真似したり、質問したりすることで、たくさんのことを学ぶことができました。



特に、先生方から学んだ、子ども一人一人をよく見ることを実践することで、子どもから多くのことを学ぶことができました。

私が今、大切にしていることは、子どもを褒めることです。低学年は、褒められることで大きく成長することができます。子どもの小さな成長を褒め、その周りの子も意識し、学級全体で高め合うことができるようになってきました。最近では、聞き方名人になろうと始めた運動が、徐々に子ども同士の意識を変化させました。呼びかけが増え、遂に全ての授業で姿勢良く人の話を聴くことができました。子どもたちの達成感に満ちあふれた笑顔は、私の宝物になりました。この一年でどれほどの宝物が増えるか楽しみです。宝物を増やすためにも、子ども理解に努め、子どもの成長を喜び、褒め、共に一年で大きく成長したいと考えています。

【お知らせ】

平成29年度

第61回 多治見市科学作品展

日時：平成29年 9月 9日（土）

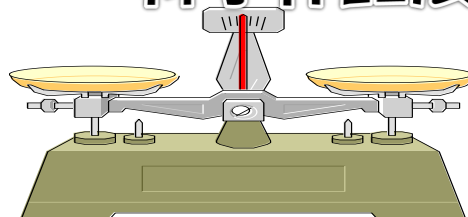
9月10日（日）

午前9時～午後5時まで

場所：パロー文化ホール 展示室

多治見市21校の小中学生の皆さんが、夏休みに取り組んだ科学作品の展示会です。各校の最優秀作品が展示されますので、是非、ご覧になってください。

多治見市
科学作品展



「陶都中学校での3ヶ月」

陶都中学校 大海 綾香



陶都中学校で働きはじめて3ヶ月が経ちました。4月は、今まであまり馴染みがなかった多治見という土地の、大規模な学校での勤務ということで期待と緊張でいっぱいのスタートでした。また、陶都中学校の家庭科の教諭は私一人であるため、生徒が家庭科を好きと思うか嫌いと思うかは私の授業にかかっていると、責任重大であると思いました。と同時に、生徒が楽しいと思える授業ができるようになりたいと改めて感じました。まだ授業がうまくいかないことも多いですが、「日々の授業は生徒にとっては一度きりである」ということを常に忘れず、少しでも良い授業ができるように他の先生方の授業参観やご助言、多くの方が関わってくださる研修などから学んでいます。

教師としてこれから身に付けていかなければならないことばかりですが、生徒や先生方から多くのことを前向きに学び教師として成長していきます。

「一歩ずつ」

陶都中学校 日下部 拓也



教員として勤め始め、3ヶ月が経ちました。右も左も分からず、ただひたむきに今日まで勤務してきましたが、失敗を繰り返す日々を送っています。そんな中、先輩の先生方からは多くの支援と御指導を頂き、申し訳ないと思いつつも、職場に恵まれたことを嬉しく感じています。

そして、最も私を支えてくれたのは陶都中学校の生徒達でした。学習や行事に取り組む懸命な姿を見て、「私も負けていけない」と思い、できる限りの力で職務に励むことができました。これからも生徒達に負けぬよう努力を重ね、少しでも成長した実感を得られるように精進していきます。

これから私は教員としてさらに多くの経験をしていきます。その一つ一つの経験からどれだけ学びを得られるかは私自身にかかっています。これからも学び続ける姿勢を大切に、生徒達と共に成長していきます。

「教師としてできること」

平和中学校 杉本 渉



“すごく楽しくてやりがいのある仕事だなあ”と初めての感想で話すことができれば良かったのですが、“大変な仕事だなあ”ということが正直に思ったことでした。

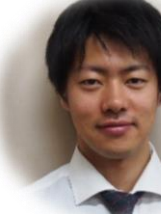
それから3ヶ月がすぎ、大変な仕事ではあるけれどやりがいも感じはじめ、自分がどのように子どもたちと関わっていき、成長していけば良いのかがわかってきました。

私が教員を志したとき、こだわりたいと思っただことは、自分を認められる子どもが多く育てほしいということです。そのために、教科・生徒指導、仲間との関係、保護者の方との関係など自分が何をサポートできるのか、考えながら働きたいと思っています。

“どんな教師が生徒の今後の人生に影響を与えられるのか”は分からないという話を、聞きました。私はまだ、新任で、他の先生に比べても劣ることはもちろんありますが、学び続け、全力で働いていく中で、子どもたちのよりよい成長の手助けができれば良いと思っています。

「環境に感謝」

多治見中学校 高橋 翼



教員として働きはじめ、2ヶ月が経過しました。分からないことばかりで、色々なことを先輩に聞く毎日ですが、優しく教えていただいています。

特に、学級経営では、思い通りに行かないことが多くあり、何がダメでどうすれば良くなるのかも分かりませんでした。しかし、1ヶ月もすると生徒の性格や特徴が分かり、クラスとしての良い点や課題点に分かるようになってきました。

この2ヶ月間で、生徒たちは、確実に成長しています。キャンペーンや学活を通して自分たちのクラスを振り返り、その課題の克服に向けて頑張りました。4月には、お互いに呼びかけあう姿が見られませんでした。今では、自分たちで呼びかけを行い、それに答える姿が見られるようになってきました。生徒たちの成長が目に見えて実感できる喜びが、今のわたしにとって大きなやりがいとなっています。

今はまだ、お世話になることばかりですが、優しく教えてくださる先生方や、自分たちで成長していく生徒をみていける環境に感謝し、これからも日々精進していきます。